

平成 2 7 年 度 第 2 回

## 八王子市スポーツ推進審議会会議録

日 時 平成 2 8 年 3 月 4 日 (金) 午後 7 時  
場 所 富士森体育館 会議室

## 第2回スポーツ推進審議会日程

1 日 時 平成28年3月4日（金）午後7時

2 場 所 富士森体育館 会議室

3 報告事項

(1) 審議会委員の改選について

(2) 平成28年度予算（スポーツ関係）について

ア. スポーツ振興課予算案

イ. スポーツ施設管理課予算案

(3) スポーツ推進計画進捗状況について

ア. スポーツ施設の整備・充実

イ. 障害者スポーツの推進

ウ. ジュニア育成

エ. TOKYO 八峰マウンテントレイル 2015

オ. 第66回全関東八王子夢街道駅伝競走大会

4 その他

5 閉 会

---

八王子市スポーツ推進審議会委員

スポーツ関係者	姥 貝 荘 一
	澤 本 則 男
	塩 澤 迪 夫
	立 川 富美代
	平 岡 孝 子
	藤 木 寿 勝
	前 原 教 久
学校体育関係者	大 越 洋 一
学 識 経 験 者	浪 越 一 喜
事 務 局	小 柳 悟
	坂 口 崇 文
	橋 本 徹
	野 村 泰 史
	古 川 元 三

【午後7時00分開会】

○浪越会長 ただいまから、第2回八王子市スポーツ推進審議会を開会します。ただいまの出席委員数は、9人です。梅澤委員・糸田委員・林委員から欠席の連絡がありました。

条例第5条第2項の規定による定足数には達していますので、本審議会は有効に成立しています。

なお、元ひよどり中学校長の神成（かなり）委員の後任者で四谷中学校長の大越（おこし）委員に今回からご出席いただいておりますのでご挨拶願いたいと思います。

○委員 四谷中学校長の大越です。よろしくお願いします。

○浪越会長 ありがとうございます。

本日の進行ですが、お手元に配付の次第のとおりです。報告事項のみとなっております。

それでは報告に入ります。「(1) 審議会委員の改選について」、事務局から説明願います。

○事務局 別紙1 八王子市スポーツ推進審議会条例及び同施行規則をご覧ください。

現在の審議会委員の任期が今年6月で終了することから、市民委員2名を公募するため、広報4月1日号にて募集記事を掲載し、所定の手続きを経て市民委員を決定する予定です。

各団体・機関等から選出いただいている委員につきましては、「附属機関及び懇談会等に関する指針」により、原則として審議会の委員に8年を超える期間を継続して選出しないとしておりますが、今回、8年を超える体育協会会長につきましては、本市のスポーツのあり方の議論の中で必要不可欠であると考えます。

その他の委員につきましては、今後、選出団体・機関等と事務局とで調整させていただきたいと思います。

また、選出について本市の審議会等の適正なあり方に関する指針の中で、男女の構成について等しくするという条項がありますので可能な限り女性委員を半数に近づけたいと思います。

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。

ご質問、ご意見等はありませんか。

(なし)

○浪越会長 それでは次に、「(2) 平成28年度予算（スポーツ関係）について」

アとイ、関連事項ですのでまとめて事務局お願いします。

○事務局 それでは、平成27年度予算について説明させていただきます。

別紙2をご覧ください。この資料は、スポーツ関係のソフト事業を所管するスポーツ振興課の平成28年度歳出予算案をまとめたものです。

なお、スポーツ施設管理課予算案につきましては、後ほどスポーツ施設管理課から説明いたします。

表のつくりとしましては、左側から事業番号と事業名、次に28年度27年度予算額とその対比、次に事業内容を記載しています。

一番下から二番目の合計欄をご覧ください。

スポーツ振興課予算については、28年度予算3,651万8千円、27年度予算3,388万から263万8千円の増となっております。前年度比増の主な要因としましては、事業番号15の健康体操教室開催に伴う支出ですが、27年度は事業費の約半分を福祉部高齢者いきいき課から介護保険特別会計として支出していましたが、28年度からは事業費全額をスポーツ振興課の一般会計から支出することによる増になります。健康体操教室開催事業そのものについては内容の変更はございません。

続きまして、事業番号17のジュニア育成について50万円の減となっておりますが、昨年度から市長会補助金額の上限額が50万円減額されているため、事業の質は維持しつつ、契約金額の見直しによる減となっております。

続きまして、事業番号19をご覧ください。フォトロゲインニングの開催ですが、H29年市制100周年記念事業のメニューの一つにフォトロゲインニング開催がございます。フォトロゲインニングという名称については、聞き慣れない言葉だと思いますが、簡単に説明しますと地図をもとに、オリエンテーリングに似たレクリエーションスポーツで時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツで、チームごとに作戦を立て、チェックポイントでは地図上の見本と同じ写真を撮影し、いかに多くのチェックポイントを周り、合計点を稼ぐかという競技になります。

H28年度の予算10万円についてですが、H28年度は準備期間ということで日本フォトロゲインニング協会による運営講習会の参加料を計上しております。

説明は以上です。

○事務局 別紙3をご覧ください。

スポーツ施設管理課所管の28年度予算案の主だったところを説明します。資料には屋外運動施設の管理運営について記載しています。事業費として前年度に比べ161,651千円の増

になっています。その主なものを説明します。

中段の上柚木公園陸上競技場改修が156,798千円ですが、第2種公認継続のために必要な整備を行います。その内容としては、観客席を3,464人から5,000人に増設しますが、芝生席の拡大で対応します。また、傷みの激しいウレタントラックの改修や古くなった器具の更新をします。

今年度末から準備を整え、秋の大会が終わったあと工事に入り、平成29年2月竣工予定です。

次に上柚木公園テニスコート改修が119,880千円になります。27年度に実施設計をし、来年工事にかかります。3年前に大規模な補修を行ったが、非常に利用率が高いので傷みが早く、そろそろ破れるところが出てきても不思議ではない状況なので予算を確保しました。竣工予定は平成29年2月の予定ですが、雪が心配される時期なので、3月にもっていければと考えています。

次に4番の大塚公園テニスコート改修については、3,619千円で実施設計委託料のみです。テニスコートはどこも傷みが激しいので、松木、富士森、上柚木、大塚の順番で計画を進めます。

次に5番の富士森公園陸上競技場改修につきましては、実施設計委託料などで22,855千円計上しております。平成29年度の緑化フェアの会場となりますので、時期は未定ですがフェア終了後に改修工事の準備を始め、工事に着手したいと考えています。

次に6番の富士森公園テニスコート整備については、緑化フェアの開催に伴い古くなった管理棟の整備工事費として38,000千円の予算が付きました。

次に7番の富士森公園野球場（市民球場）施設改修につきましては、野球場も緑化フェアの会場となりますので、ひどく傷んでいる事務所前の舗装を新しくします。また、入り口が狭いので正面門扉の幅を拡張し、バスが出入りしやすくします。外周フェンス改修につきましては、金網ですが新しくします。

なお、別紙2の最終行、これはスポーツ振興課の予算ですが、1,500円のテニスコート使用料うち500円を将来の補修工事に備えて基金に積み立てていくということです。補修が必要でも予算がないために、必要な修繕をせずに使い続けると、施設をさらに傷めてしまうことになるので、あらかじめ費用を積み立て準備しておくということです。改修後の使用料改定分500円を積み立てるわけです。

ここで富士森野球場にネーミングライツが付きました。300万円で大和ハウスに決まりました。これは野球場改修費用として積み立てていきます。

体育館関係については、前年度と大きな変化はありません。改修工事が終わったので、16億円ほど減額になりますが、空調を入れたので空調費用とし7,000万円ほど増額になっています。1年間の空調費用の実績を見て、どう料金に反映するかを考えます。

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。

事務局の説明にご質問等はございますか。

○委員 ネーミングライツについて教えてください。

○事務局 年間300万円で3年後に年度更新をすることで協議が進んでいます。ダイワハウスが名前を公募することに特徴があり、おそらく日本で2番目の事例です。ダイワハウスと関係のない名前がついた時は、球場内にロゴを出すことなどで対応したいと考えています。

○委員 空調を使っても、当面は料金がかからないということですか。

○事務局 まずは1年間の実績を見ます。市の施設全部の料金について見直しをかける時期が遠くから来るとお思いますので、有料化はその時に考えたいと思います。

○委員 健康体操の予算が増えているが理由を聞かせてほしい。

○事務局 予算の色分けが変わっただけで実質は変わらない。一般会計600万を一般会計300万と介護保険特別会計300万に分けたものが、再び一般会計に介護保険特別会計で計上していた300万がもどってきたわけです。

○委員 地区運動会等開催とありますが、どの規模のものですか。

○事務局 旧体力づくりであった団体とその後設置された総合型地域スポーツクラブの二つを対象にして、1団体につき99,000円を上限に運動会とか大会開催について助成しています。

○委員 そういう形をとっているといつまでも体力づくりが残ってしまわないですか。

○事務局 地区の運動会には長い歴史があり、体力づくりは解散し、総合型に移行しなかったが、運動会だけは続けたいという要望に応えたことになります。

○委員 現在何か所くらいありますか。

○事務局 昨年実績で18団体の申請がありました。

○委員 体力づくり運営協議会は解散したが、体力づくりの名前を残して活動しているところもあると思いますがどうでしょう。

○事務局 その通りです。

○委員 総合型の中に体力づくりという名前を入れているということでしょうか。

○事務局 要綱を確認いたします。

○浪越会長 ありがとうございます。

それでは次に「(3) スポーツ推進計画進捗状況について」の  
「ア. スポーツ施設の整備・充実」について事務局から報告願います。

○事務局 市民体育館の大規模改修、富士森公園の再整備、滝が原運動場の再整備、大塚公園・陵南プールの改修、公園施設の設置管理許可制度の活用の五つが掲げられてますが、体育館の改修は終わり、富士森公園の再整備については公園全体の再整備の中で運動施設にかかわる部分の整備を行います。テニスコート、陸上競技場が該当しますが、陸上競技場についてはこれから着手していきます。滝が原運動場については中長期計画なのでこれから動き出すところです。プール改修については調査によると大塚についてはまだ3～4年はもつということですので、それから考えます。陵南についても大塚と並行して考えていきます。

許可制度は都市公園の中に施設を設置し、管理することができるという規定ですが、平成17年度のフットサルコートがこれに該当します。市が土地を有料で貸し、運営することを許可することです。市は地代だけ受け取り、運営はすべて独立採算でクーパーが行います。予算がない中で施設を作っていくということで目標に掲げていますが、民間として採算が取れないところでは実現できません。スイミングスクールを認めれば、大塚公園プールについては可能性があるかもしれないと考えていますが、実際にはなにも動いていません。

施設運営のための財源の確保につきましては、富士森野球場のネーミングライツで300万円、外野フェンスの広告についてはすべてうまり年間140万円の収入となります。エスフォルタアリーナのメインアリーナの広告スペース28のうち24がうまっています。テニスコートについては、料金の引き上げ部分を将来の改修経費として確保することにしていきます。運動施設に関する進捗状況はこういったところです。

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。

事務局の説明にご質問等がありますか。

○委員 エスフォルタアリーナの広告はいくつありますか。

○事務局 28あって24うまっています。増設もできるのでうまったら増やすつもりでいます。  
一律年間108,000円ですが、設置は広告主が行うことになっています。

○浪越会長 ありがとうございます。

それでは次に「イ. 障害者スポーツの推進」について、事務局から報告願います。

○事務局 それでは、イ. 障害者スポーツの推進について説明させていただきます。

別紙4をご覧ください。

本市スポーツ推進計画の「基本施策1. ライフステージ等に応じたスポーツの推進」の中で障害者スポーツを掲げておりますが、27年度に取り組んだ内容について、説明いたします。25年度、26年度は、障害者スポーツへの理解と指導者育成ということから本市スポーツ推進委員を対象に年2回、様々な障害者スポーツに係る種目を実技研修として実施してきました。27年度については、スポーツ推進委員協議会の中でボッチャという競技を軸に、障害者スポーツについて一歩進んだ取り組みをしていこうということになりまして、今後、ボッチャ教室や大会を運営していくことを想定し、昨年9月及び今年1月にボッチャに特化した実技研修を実施しております。

第1回目につきましては、東京都障害者スポーツ協会のご協力を得まして、実際に競技体験を行いながらボッチャに関する詳細なルールを学びました。

第2回目につきましては、スポーツ推進が主体となって競技運営を想定したコートラインの準備や審判について研修を実施いたしました。

また、スポーツ推進委員協議会が主管する1月の市民ネオテニス大会では、東京都障害者スポーツ協会のご協力を得、ボッチャ体験コーナーを初めて運営いたしました。ボッチャ体験参加者は112名と大会参加者の約半数の人数が体験されました。

また、スポーツ推進委員は本事業以外にも例年10月に障害者と健常者が一緒に行います「ふれあい運動会」にもボランティアとして運営に携わっております。

今後もスポーツ推進委員協議会では障害者スポーツの知識・技術の習得に努め、ボッチャ教室の運営を検討していく方向で考えております。

説明は以上です。

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。

事務局の説明にご質問等がありますか。

○浪越会長 よろしいでしょうか。

それでは次に「ウ．ジュニア育成」について、事務局から報告願います。

○事務局 それでは、ウ．ジュニア育成事業について説明させていただきます。

別紙5をご覧ください。

本市スポーツ推進計画の「基本施策5．2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて」の中でジュニア期におけるアスリート支援を掲げておりますが、27年度に取り組んだ内容について、説明いたします。

まず、事業内容についてですが、昨年度も東京都市長会の多摩島しょスポーツ振興事業の助成金を活用してきましたが、27年度については実施報告の一覧表のとおりヘキサスロン、バスケットボール教室、バドミントン教室、走り方スピードアップ教室を実施しました。今後は本市初のプロバスケットボールチーム「東京八王子トレインズ」とも連携して、ジュニア育成という観点だけでなく、地域の活性化につなげていきたいと考えております。

説明は以上です。

○浪越会長 事務局の説明が終わりました。

ご質問があれば、お願いします。

○委員 4つの事業の講師について教えてください。

○事務局 ヘキサスロンについてはミズノ株式会社のヘキサスロンの専任の講師、バスケットボール教室については元トレインズの外国人選手が講師になり、バドミントン教室は法政大学にあるNPO法人法政クラブ、総合型スポーツクラブですがバドミントン部のコーチ及び学生4名がサポートする形で実施しました。走り方スピードアップ教室についても法政クラブの陸上部の関係者が講師を務めました。

○委員 うちのクラブでは3年くらい、JR東日本に頼んで走り方を学校で教えてもらっています。トレインズにも2回ほどやってもらっています。話をすれば協力してもらえるので、活用してもらえればと思います。

○事務局 走り方教室で協力してもらえる団体については検討しますが、28年度事業には走り方教室の予定がなく、バスケット、バドミントンと新たに体操を検討しています。

○浪越会長 走り方教室の方がバスケット教室より3日間の述べ参加人数でも多いのに、スピードアップ教室をやめる理由があったのですか。今後体操をやるのならどういう指導者がやっていくのか教えてください。

○事務局 種目を変えている理由については、助成要綱に従来の事業からレベルアップしたもの、あるいは新たな事業という要件があります。講師のグレードを上げるということでは費用がかさんでしまいます。もう一つは開催日数を増やすことでレベルアップとなりますが、一般利用者が施設を利用しにくくなりますので、走り方教室を取りやめざるを得ませんでした。補助金を当て込むために新たなものに取り組むことになったわけです。

○委員 JR東日本は無料で来てくれます。コニカミノルタも無料で来てくれました。金をかけずにできることもあります。場所についても走り方などは、小中学校の校庭でもできることもあります。やり方次第かなと思いますでしょうか。

○事務局 今後無料で開催できるものがあれば、連携していきたいと思います。

○浪越会長 人気があるのなら、是非何とかならないものかと考えています。

○浪越会長 それでは次に「エ. TOKYO 八峰（はちみね）マウンテントレイル 2015」について、事務局から報告願います。

○事務局 別紙6をご覧ください。スタート時点は曇りでしたが、多くのランナーがゴールする頃は雨でした。880名の申込みがありましたが、天気の影響もあるのか、693名が出走し630名が完走しました。実行委員会の構成団体を中心に183名のボランティアにお手伝いいただき、およそ130名に山の中に入ってもらい、残りの50名にスタートゴール地点を手伝ってもらいました。残念ながら転倒によるけが人が3名出ましたが、救急車による搬送はなく、コースの関門まで自力で来てもらい、公用車で病院へ運びました。マウンテントレイルではこの程度のけがは当たり前だということで、けが人からお詫びの電話をもらうような状況でした。裏面をご覧ください。東京都自然公園利用ルールに則った大会ということで、都に指定された3か所を大会の前後にモニタリングしましたが大きな変化はなく、1月21日に結果を東京都に報告しました。

アンケート結果によると、利用ルールを知っていた人が少ないので、啓発はできたものと考えています。

今年も12月に同じ大会を開催したいと考えています。意見をいただいたスタート時刻については、交通規制の関係で変えられませんが、トイレの増設については今年の大会で対応しま

す。

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。

事務局の説明に御質問等がございますか。

○浪越会長 インターネットで申し込む際に、事前にアンケートに記入してもらってはどうか。母数を増やすことができるし、自然公園利用ルールを知っているかという項目を入れれば、ルールを知らなければならないのかという啓発にもなると思います。

○委員 参加者の年齢層はどうでしょうか。

○事務局 40歳代が最も多かった。70歳代の方が9名でほぼ完走しました。10代が1名で年齢層はかなり高い人が多かったようです。

○委員 一般のハイカーとのトラブルはどうでしたか。

○事務局 この日は雨だったので都が指定した地点によるモニタリング調査でもハイカーは5名程度でした。

苦情は3件寄せられましたが、「ここではやらないで」、「ボランティアの人がリュックをベンチに置いていたので座れなかった」、「スタートが15分遅れ、交通規制が延びたので会社に遅れそうになった」という内容でした。

○浪越会長 ありがとうございます。

それでは次に「オ. 第66回全関東八王子夢街道駅伝競走大会」について、事務局から報告願います。

○事務局 別紙7をご覧ください。2月14日に開催しました。準備中は雨で、スタートの頃には雨が止み、ゴールの頃には2月とは思えない暑い気温になりました。今回はじめて500チームを超える申し込みを受け、513チームが当日の受付を済ませ、478チームが完走しました。一般男子、大学男子の部で設定時刻によるレースの打ち切りがあったことにより、完走率が下がっています。気温のせいかな新記録は出ませんでした

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。

事務局の説明にご質問等がございますか。

○委員 今のコースはベストのコースと思うが、500チームとなると走路が狭い。タスキ渡しで散田小の方に入るが、追い抜きができなかったり、女性チームが走っているところへ速いチームが勢いよく飛び出すなど危ないところもある。散田小のところへ入るとか、走路が広ければと思いながら見えています。

○事務局 走路を広げることは難しいですが、散田小のところへ入ることについては、実行委員会で検討します。

○委員 体育協会の反省会での意見を実行委員会に上げているが改善されない。散田架道橋あたりで毎回トラブルがあります。チーム数の増加に役員の体制が追いついてないのではというのが、体育協会の総体的な反省点であります。トイレ行きで選手が抜け、戻ったことに気付かなかったというが、その点について聞きたい。走路を広げられないなら、役員がしっかりしないと事故につながる恐れもあります。通勤に間に合わないと言って、交通規制に従ってもらえないこともあるというので、警察とか安全協会に頑張ってもらいたいと思います。

○事務局 反省点が反映されていないということであれば、66回の反省点をふくめ、67回大会に活かせるようにしていきたいと思います。

○委員 帰りのバスが空だったりするので、帰りのバスの出発点を明確にした方が良いと思います。

○委員 駅伝を街の中央に持って来たことによる地域の活性化はどれくらいできているかの調査はしていますか。お客が増えたという声をあまり聞かないのですが。

○事務局 していませんが、スポーツと地域の活性化を目的にした大会なので、できる限りの調査を実施していきたいと思います。

○委員 沿道の商店も潤うような仕組みを作った方が目的に近づくと思います。

○浪越会長 他になければ本件について終了します。

最後に「3その他」ですが、今までの議論に関連して、あるいはそれ以外でこの場で取り上げるべき事項などございましたらお願いします。

○委員 27年中に立ち上がった地域スポーツクラブはありますか。

○事務局 今現在、総合型地域スポーツクラブは20団体あり、もう1団体増える予定で調整中です。将来的には29団体を目指しています。

○委員 昔の23地区には、まだできていないところがあるということですよね。

○委員 慰霊塔と駐車場の話はどうなっていますか。

○事務局 28年度に作る予定です。公園課の予算で、公園駐車場として整備します。50台位の規模で、体育館の駐車場としても使えます。

また、4月からの富士森体育館の運営につきましては、従前と同じ管理運営をします。

○事務局 6月の委員改選に際し、浪越会長が3期9年となりますので、規定により退任されます。長い間ご尽力いただきありがとうございます。ここで一言ご挨拶をお願いいたします。

○浪越会長 大変お世話になりました。最初の「八王子市スポーツ基本計画」の策定の時からのお付き合いとなります。仲間からも、「八王子は頑張っているね」と言われるくらいのところまで来て、さらに総合型クラブも胸を張れる数ができましたし、エスフォルタアリーナの建設にも関わりが持てました。地域スポーツが大きく変わる中で、スポーツ行政に関わることができたことは、大きな財産になりました。気が付くと審議会で9年にもなっていました。

ありがとうございました。

(拍手)

○浪越会長 以上で本日の案件は全て終了しました。ありがとうございました。

【午後8時16分閉会】

---

上記会議録は事実に相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市スポーツ推進審議会会長

八王子市スポーツ推進審議会委員